



桑野地域公民館だより

令和6年 2月号 文責：吾妻 敦

イラスト：渡部 義勝

本の紹介：高宮美智子

電話・FAX 934-3030



公民館50周年



回
覧

くわのみ

地域未来塾・くわのっ子スクール「冬休み宿題応援 書初め教室」



ぼくは、小学校の書写の授業が結構好きなので、冬休みの書き初めコンクールに毎年挑戦しています。ぼくは、書道を習っていないので、小学校の授業だけでは練習がたりません。それで、公民館の書初め教室に小学校3年生の時から参加しています。



冬休み中でも、小学校の友達に会えたり、先生の上手な文字を見たりすることができて楽しいです。今年も自分で休憩を取りながら、集中して自分なりに良い作品ができたと思います。



公民館の行事には、1年生の時からいろいろ参加してきました。カレーを食べたり、太鼓、芋ほり、魚つかみをしたりなど、いろいろ楽しい思い出があります。

ぼくは、4月から中学生になってしまうけど、これからも小さな子どもたちが楽しめる行事を続けて欲しいです。参加者：6年島宗さん



ぼくは、冬休みの宿題の書き初めが苦手でした。なぜかという、どうしても筆で上手に字が書けなかったからです。



だから、桑野公民館で宿題の書き初め教室をやると聞いて参加してみることにしてみました。教室では、まず自分で書いてみたものを習字の先生に見せた後に、どう書いていいかを教えてもらいます。自分が書いた字の上にオレンジ色で正しい書き方を書いてくれるのでわかりやすいです。

ぼくは、先生から「うまく書けたね」とほめられたので、習字をするのが楽しくなってきました。これまで毎年のように教室に行っているのですが、はじめは苦手だった習字が、今はもう大好きになりました。人はほめられるとうれしくなりやる気ができます。

みんなも楽しみながら習字を頑張ってみてはどうですか。ぼくは、また来年も参加して、もっと上手な字を書きたいと思います。参加者：4年渡辺さん



みつけたらよんでみよう
クマと森のピアノ

おすすめの絵本

筆：たかみや みちこ

さく：デイビット・リッチフィールド やく：俵 万智



『街に来て、ブラウンの夢は、ぜんぶかなえられました。でも、心のどこかに、ぽっかり穴があいているのです……何かがちがう。何かが足りない……』

好きなものと出合うとき、はじめは、なんとなく気になって、やめて、また気になって、くり返して、楽しくなって、続けたくなって、という感じで、決めて出合えるものではないですね。

クマのブラウンは好きなものができたことで、どんどん有名になり、どんどん夢がかなえられていきました。だけど、ブラウンの気持ちは……。まるで映画のような美しいおはなして、とても心が温かくなります。

訳をしてくださった俵万智さんも朗読をしてくださったことがあり、その穏やかな声に魅了されました。大切な場所で、大切なひとたちのために…ぜひみつけたらよんでみてください。

お知らせ

地域在住の高宮さんには、「みつけたらよんでみよう おすすめの絵本」を担当していただき、毎月素敵な絵本を紹介しています。高宮さんに執筆いただいた過去の作品をまとめたものを、今後発行する予定です。桑野公民館で印刷して、希望される方にお渡しする予定です。なお、詳細は近日中に「公民館だより」「桑野公民館 Instagram」でお知らせします。

「桑野公民館だより」を一緒に作ってみませんか？

地域や身の回りの出来事、地域の美味しいお店や気になる情報など、新たに記事で伝える「桑野地域だより」を考えています。写真やイラスト、4コマ漫画も募集します😊

桑野公民館だよりでは、「地域の人々が主役」をキーワードに、「くわのみ」を毎月お届けしています。今まで、地域の渡部さんが作成した似顔絵で行事を紹介したり、高宮さんの作成した「おすすめの絵本」を3年前から紹介したりなど、市内や地域の方々から「すごい」「楽しみにしている」などの声をたくさんいただいています。

原稿は、今後随時受け付けます。対象：桑野地区在住の方（小学生や中学生、高校生もぜひ）

◇ **記事の内容**：桑野地域、身の回りの出来事などを300字～400字程度の記事にまとめてください

◇ **送り方**：住所、氏名、学校名、連絡先を書いて、桑野公民館まで メールや FAX で送ってください
送っていただいた記事や作品は、公民館で選んで「公民館だより・くわのみ」や「Instagram」で紹介
します。 桑野公民館メールアドレス→ kuwano-pub@city.koriyama.lg.jp